

(1)

2013年9月28日

The Kyodan Times

(1933年12月28日 第三種)
郵便物認可 隔週土曜日発行

第4782号

教団新報



上、ユースワーシップにて。
下、シダーパーク教会玄関前、
ウェルカムパーティが開催された。

日米教会青年交流大会 ユースミッション2013

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 崎哲夫
編集主筆 長渡義彦
印刷所 株式会社かんし

土曜日の夜は、ユースワーシップとして、ギターを用いた贊美形式の礼拝を行ない、2時間近く、賛美をして日本の中でも高齢者たちなどが自由に証しを行う時を持った。共に過ごした時を振り返りながら、感極まって涙する青年たち、手を叩きながら喜んで讃美をする青年たち、抱き合って再会を誓い合う者たちなど、瑞々しい感情が素直に表現されていた時であった。これを後ろの席から、喜んで見守っている高齢の教

013年7月19日～30日にかけて、教団伝道委員会の下に設置された伝道推進室「ユースミッション2」で、日米教会青年交流大会が開催された。交流先の教会はアメリカ・テキサス州オースティンにあるシダーパーク第一合同メソジスト教会(以下、シダーパーク教会)である。国内外の青年を募集し、青年10名、引率者3名(牧師2名、信徒1名)が日本より参加し、充実した時を持つことができた。

このユースミッション日は今回の開催が初めてであるが、この企画にいたる前史がある。2011年3月11日、日本は大きな痛みを経験した。まもなくボラ

ンティアセントラ・エマオが開設され、その働きが現も有益に用いられていることは周知のことである。

このエマオの働きにより、シダーパーク教会の青年たちが2012年3月、Project Youth To Japan (PYTJ) と呼ぶチームを結成して被災支援のために来日し、東北の厳しい寒空の

震災支援をきっかけとして大会実現

と自然を肌で感じるようなプログラムが多く入れてくださいました。

しかし何よりも、教会ならではの働きを濃密に体験することができた。たゞえ3日間を費やしてのホームレス支援活動である。

しかしながら、何よりも、

教会は、1983年に設立さ

れた、比較的歴史の若い教

会である。礼拝出席は80名

ほどと、アメリカにおいては多い人数ではない。けれ

ども、迎え入れてくださっ

た教員及び青年たちは大

きな旅であり快活であり、

まさにアメリカ的な雰囲気

だ。

オースティンは、人口80万人ほどのテキサス州の州都であり、自然が大変豊かであるとともに、近年、人口増加が著しい都市である。ヒスパニック系の移民も多く、英語とスペイン語の両方が記された看板ばかりであった。典型的な南部州であり、信仰・政治思想

が、シダーパーク教会内で高まり、具体的な計画へと踏み出そうとしたところ、今

度の宣教のための交流へ

と発展させたいとの思い

で、日本の教会青年による

お互いの出会いをきっかけにし

て、日米の教会青年による

YTIのTシャツが飾られ

た(現在もエマオ石巻にP

YTIのTシャツが飾られ

て、ボランティアに従事し

た)。その後、PYT

YTIのTシャツが飾られ

て、日米の教会青年による

お互いの宣教のための交流へ

と発展させたいとの思い

で、日本の教会青年による

お互いの宣教のための交流へ

と発展させたいとの思い

<p

